

地理歴史

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
地理歴史	地理総合	2	3年次・全	必修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
わたしたちの地理総合 世界から日本へ （二宮書店）		わたしたちの地理総合 ワークノート （二宮書店）		履修条件なし 3年次必修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	1章 地図と GISの活 用	1節 球面上の世界 2節 国家の領域と領土問題 3節 国内や国家間の結びつき 4節 日常生活のさまざまな地図	4 5	・さまざまな地図や地理情報について、情報収集の方法や読み取り方、利用のしかたを身に付け、地理的技能を養う。	1 2 3
		2章 生活文化 の多様性 と国際理 解	1節 自然環境と生活文化 2節 産業の発展と生活文化	6 7	・さまざまな地形や世界の産業の特徴と生活文化との関連性を捉え、主題図や写真などの資料を通して考察する技能を身に付ける。	1 2 3
	2 学 期		3節 言語・宗教と生活文化 4節 グローバル化の進展と生活文化	9 10	・世界の言語・宗教の特徴と分布や EUの統合やアメリカ合衆国の多様性について、地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解し、互いに多様な文化を尊重する多文化共生社会の実現方法について議論し、考察する。	1 2 3
		3章 生活文化 の多様性 と国際理 解	1節 人口・食糧問題 2節 居住・都市問題	11 12	・世界人口の急増によって生じる問題や都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取り、各国の人口政策や諸問題についての比較や、引き起こされる都市問題について理解を深め、解決の方策を構想する。	2 3
	3 学 期		3節 資源・エネルギー問題 4節 地球環境問題	1 2	・エネルギー資源の変化や環境問題の仕組みを構造的に理解し、持続可能な発展を実現するためには国際的な協力体制が必要だけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察する。	1 2 3
		4章 生活文化 の多様性 と国際理 解	1節 自然環境と防災 2節 持続可能な地域づくり	3	・日本列島の地形や気候のなりたちや多様性について理解し、ハザードマップなどを活用し、自らの生活圏の防災について考察し、表現する技能を身につける。 ・生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し、身近な地域の魅力や課題を見いだし、調査を踏まえてその解決策を考察する。	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○授業で学んだことを理解している。 ○インターネットや文献などから情報を収集できる。 ○図や資料を適切に読み取り、授業で活用できる。	○収集した情報を的確に理解し、整理・分析することができる。 ○分析・考察したことを効果的に説明することができる。 ○自ら課題を設定し、その解決方法について考察できる。	○学習の目標を理解し、真面目に取り組むことができる。 ○積極的な発言や行動を取ることができる。 ○他とうまく協働しながら、学習を進めている。
	手 段	・定期テスト	・定期テスト	・授業中の応答や態度、課題など
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。	
学習上の留意点	・毎時間教科書、ノート、地図帳、タブレットを持参する。 ・課題やノート（学習プリント）など、提出物は期限内に提出すること。			